



命とふれあい、心を育み続けて23年。国東市で行われている思春期保健福祉体験学習は、地域・学校・行政の連携、そして関係者の「願い」によって実施されてきました。それは、「命を大切にし、周囲の人に感謝して、夢と希望にあふれる将来を描いてほしい」という生徒たちへの願い。教室中に広がる生徒たちの笑顔を見ていると、願いが通じているように感じます。

市は、これからも思春期保健福祉体験学習を通じて、国東で生まれた子どもたちの「命と心の教育」を大切にしていきたいと考えています。

生徒たちの明るい笑顔が、国東市の明るい未来につながると信じて。

医療保健課からのお知らせ

思春期保健福祉体験学習への ご協力をお願いいたします

医療保健課では思春期保健福祉体験学習を市内全ての中学校で実施するため、「にここ子育て広場」や「愛育学級」、「乳幼児健診」の時などに参加へのお声かけをしています。また、体験学習に参加して下さる母子を随時募集しています。

体験学習の趣旨にご理解いただき、みなさまのご協力をお願いいたします。

にここ子育て広場（国東町・武蔵町・安岐町） **愛育学級**（国見町）

子育ての不安や悩みをお母さん同士でお話したり、親子が遊びながら交流したりできる場で、身体計測もできます。参加の申込は不要です。



乳幼児健診（各町で実施）

健診の機会を利用して、赤ちゃんの発達や健康のチェックをしましょう。対象児には案内を封書でご連絡します。

ブックスタートや絵本の読み聞かせも行っており、参加者には絵本を差し上げています。

※実施日程・場所等につきましては、「国東市子育てカレンダー」や市報の「行事カレンダー」をご覧ください。

【問合せ】医療保健課 ☎0978-73-2450

中学3年生のみなさんと担当の先生に、体験学習の感想を聞きました

安岐中学校

松田先生のお話を聞いて、妊娠している時のお腹の中のことや、産んだときの痛みを詳しく知ることができて、自分の母が産んだときのことを改めて考えていくことができました。自分のお腹の中のことや、産んだときの痛みを詳しく知ることができて、自分の母が産んだときのことを改めて考えていくことができました。

田原 真由佳さん

妊娠体験服は重くて大変でした。妊婦さんを自分から手伝えるような人になりたいです。体験学習では、僕が生まれて今生きていることはすごいことなんだと思います。切に生活して大きいたいです。

中野 宏紀さん

武蔵中学校

ふれあい体験をさせてもらって、お母さんとは全然違うお母さんだと感じました。赤ちゃんと接する機会がなかったので、とても貴重な体験でした。今から将来が楽しみです。

阿部 菜摘さん

赤ちゃんは可愛く、お母さんとは全然違うお母さんだと感じました。赤ちゃんと接する機会がなかったので、とても貴重な体験でした。今から将来が楽しみです。

田川 勇人さん

国東中学校

知らないことをたくさん知ることができ、赤ちゃんと接する機会がなかったので、とても貴重な体験でした。今から将来が楽しみです。

難波 莉桜さん

赤ちゃんの可愛さや、お母さんとは全然違うお母さんだと感じました。赤ちゃんと接する機会がなかったので、とても貴重な体験でした。今から将来が楽しみです。

高木 啓希さん

国見中学校

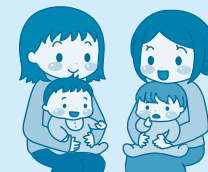
赤ちゃんと接する機会がなかったので、とても貴重な体験でした。今から将来が楽しみです。

東 真羽さん

赤ちゃんと接する機会がなかったので、とても貴重な体験でした。今から将来が楽しみです。

末平 陽祐さん

胎児人形を使った授業も行っていますが、この体験学習時の生徒の反応はとても良いですね。松田先生の講義を聞き、実際の赤ちゃんと接しながらお母さんから育児の話が聞けます。体験学習では、女性の体のデリケートさや妊婦の大変さ、赤ちゃんの愛らしさや子育ての苦労喜びなど、様々なことを心と体で感じることができました。体験学習後のアンケートでも、生徒たちは心温まる感想を書いてくれていました。将来への希望、パートナーへの思いやり、体験学習で感じた気持ちは、生徒たちの未来を輝かせてくれることでしょう。この体験を今後も続けていければと思います。



武蔵中学校教諭
藤原 裕子さん